

**★新春企画★ 本田健「無料レポート」プレゼント
『2009年はどうなる？ 資本主義の行方』**

2008年秋頃に始まった金融の大変動は、世界中を駆けめぐりました。はじめは、サブプライムローンなんていう聞き慣れない海外の問題は、他人事だと考えていた人も多かったのではないのでしょうか？

しかし、アメリカ、ヨーロッパをはじめ、先進国の多くの銀行が、その後、大変な状況に陥りました。空前の利益をあげていたはずが、破綻するなんて、どうなっているのでしょうか？

これまでの利益は、単に帳簿上の数字だけだったことが明るみに出たのです。おかしなものですよね。去年まで何兆円と稼いでいたところが、一気に破綻するなんて、常識では考えられません。いったい、今年何をやって、どれくらい損をしたのかと思いませんか？

おそらく、この数年会社ごと全部、丁か半か！のバクチで賭けて、勝ち続けてきたので、儲かった。でも、最後の勝負で負けた結果、全部吹っ飛んだというのが、実際に起きたことでしょう。ギャンブル中毒の零細企業の社長でも、そんなことはやらないのではないのでしょうか？

私たちの感覚では、実に「おかしなこと」が、世界中で実際におきているのです。考えてみれば、以前から、お金に関しては、おかしなことが起きていました。コンピューター上の数字をいじっただけで、何億円ものお金を儲ける人もいれば、一生懸命働いても生活が成り立たない人もいます。どうして、こういうことが起きていたのでしょうか？

今の形の資本主義がスタートした100年ほど前には、考えられなかったことがおき、お金がお金を生み出し、龍のように暴れ回るとい現象がこの20年見られるようになりました。そのお金は、国という枠組みを超え、瞬間に移動するため、誰にも規制することは出来ず、その暴力的なエネルギーは、途上国を台風のようになぎ倒していきました。日本やアメリカ、ヨーロッパで起きたバブルも、同じ資本主義の暴走の流れで起きています。お金をもっと有利に増やそうという欲望が増幅されて、ある時点でそれが破裂してしまったのです。

小さな破綻を繰り返して膨張した資本主義のこれまでの矛盾が、行き着くところまでいってしまったのが、今回の金融大混乱の本質です。今から、人類が直面しなくてはいけない課題はいっぱいあります。実際に今の混乱をどう収めていく

のかということもありますが、より本質的には、「もっとほしい！」という欲望と、周りの人たちと共生することとどう折り合いをつけるのかということが大切になってくるでしょう。何かを欲しいときに、他人から奪う戦争や強盗のようなことをするのか、それとも、ある物をみんなで分かち合うのかということなのです。

10億人以上の人口を抱える中国、インドがこの10年経済的に成長してきました。このまま世界中が、アメリカ人のように車を乗り回したり、ハイペースで消費を続けたら、地球が持たなくなるということは、みんなが感じていたことでしょう。その成長にストップがかかり、本当に必要な消費をする方向に向かっていく点では、地球の存続にはいいことなのかもしれません。これから始まる世界的な不況で、個人としては、人がどのように生きるのか、国家レベルでも、国と国がどう折り合いをつけていくのかを真剣に考えなくてはいけなくなるでしょう。

国や個人によっては、その問題を暴力的に解決しようとするでしょうし、話し合いや分かち合いで、何とかしようとする動きも出てくるでしょう。今までの資本主義が成り立たなくなったという意味では、新しい枠組みを作り直すタイミングに来ているようです。

■ 2009年の世界の見通し

さて、2009年は、みなさんもすでにご感じているとおり、この数十年なかった激動の年になりそうです。ひょっとしたら、1930年頃から、80年ぶりぐらいの変化になるかもしれません。経済だけでなく、政治、世の中の価値観なども、こういうときには大きく変わり、混乱する人が増えるでしょう。

戦後、今までの価値観が180度変わってしまったように、今からの時代は、すべてをひっくり返して考えるぐらいで、ちょうどいいでしょう。お金、仕事、時間、人間関係についても、今までとは全く違ったりえ方になるのではないかと予想しています。

これからは、経済が大幅にダウンして、相当数の人が悩み始めると思います。仕事だけやってきた人は、特に、戦前、戦争をやり遂げることしか考えていなかった人が感じたかも知れない虚脱感、絶望感、無力感を感じるかも知れません。

今までやってきたことは、何だったんだろう？という無力感から、病気になったりする人もでてくるでしょう。

私のお金の通信コースやセミナーを受けて下さった方は、感情的なことがどれ

だけ大切なのか、理解していると思います。セミナーに何度か来た方は、いろいろなワークを体験しているので、恐れや不安を感じても、すぐにカムバックできるでしょう。今、いろいろな意味で余裕のある人は、まわりが、恐れや不安を感じて、落ち込んだときには、ぜひ助けてあげて下さい。人を助けることで、自分も助けられることになります。これからの時代に備えるためには、日常的な自分の感情の揺れにも、ぜひ気をつけてください。お金や仕事のストレスにさらされ、気づかないうちに家族にあたったりするかもしれません。ストレスを感じたら、その場で対処するようにしましょう。

■ 世界は、どう変化するのか？

今、船井幸雄さんが一番注目しているアナリストの朝倉慶さんをはじめ、トップアナリスト、政治家、評論家と、交流を深めています。

では、現時点での2009年の見通しと、これからどう対処していけばいいのかというポイントについて、少しお話ししたいと思います。

1月20日のオバマ大統領就任までは、たいした動きがないかもしれませんが、その後は、いろいろな分野で、変化があるでしょう。経済分野での積極的な政策が打ち出され、それにより、一時的に経済が上向いたように見えるかもしれませんが、でも、その動きよりも、实体经济の悪化がよりパワフルで、株価を含め、景気を押し下げていくのではないかと考えています。また、世界的には、イスラエル、パレスチナ紛争、中東の政治的混乱、北朝鮮、グルジア情勢は、いろいろな形で世界に影響を与えることでしょう。

ここから、世界がどう動くのかは、誰も予測が付きません。特に、経済的な混乱が起きて、それからどうなるのかに関しては、神様の領域とでも言えます。

「俺は知っている」という人がいたら、その人は、嘘つきだと僕は思います(笑)。

しかし、あえて未来をいくつかのシナリオを予測して、準備をしておくという事は、とても大切です。経営と同じで、仮説を立てながら、それが正しいかどうかを検証しながら進めばいいのです。何も考えないで、進むよりは、はるかに安全です。

資本主義がこれから、どうなるのかという僕なりの仮説はありますが、今ちょうど、それを本に書いているところです。今すぐの話でないで、それはまた後

日にして、今は、目の前の状況をどう捉えて、準備しておくかが重要です。

これからの不況は、数年にとどまることは無いのではないかと思います。トヨタも、後半は赤字だったようですし、ソニー、東芝も赤字になるとの発表がありました。このままのペースで行くと、世界的な大企業の多くが、赤字転落していきそうな勢いです。新車、マンション、不動産が、ダメになってくると、それに応じて、広告、飲食もダメになっていきます。現実には、車、不動産業界からの出稿が大幅に減ったテレビ局、広告、雑誌関係は、業績が急激に悪化しています。

これほど連日、テレビ、新聞、雑誌で不況のデータが出てくると、普通の人でも、いろいろな物を買ひ控えするようになります。かくして、また売上が下がるといふ下方スパイラルがおきるわけです。銀座の高級バーやタクシーなどは、売上が半分ぐらいになっているところもあるようです。これは、みなさんも、実感しているのではないのでしょうか。

世界各国の政府は、経済対策として、大幅な通貨投入をやっていますが、その結果、本格的なインフレになっていく可能性でも出てきました。その行き着く先は、世界的な国家破産という形になるかもしれません。そのとき、世界はどうなるのかに、今とても関心があります。資本主義でも、途上国が破綻していくとき、どうなるのかで、いろいろな予測もはっきり出来るのではないかと思います。

日本は、その中でも、世界が必要としている物を作る製造業が発達していることから、打撃は少ないでしょう。しかし、今の形の資本主義がいったん崩壊した後、相当の混乱はあるでしょう。早くても今年、遅くとも、この数年にそれが起きる可能性があると思います。

■ では、何をやっておけばいいのか？

でも、多くの人にとっては、起きるかも知れない数年後の世界のことよりも、今、自分が何をしたらいいのかに、関心があるでしょう。世界がそこまで変わっていくのは、今はピンとこないかもしれませんが、このたった半年でも、一気に変わりました。これからの大変化を想像力を使って、イメージし、自分がどうすればいいのか、何をしたいのかを考えるべきです。

では、具体的な話をしましょう。まず、現在、従業員の人で、何をやりたいか決まっていない人は、いきなり辞めないことです。特に、会社が大きい人は、しばらくその庇護の元にいるというのが、正解です。もちろん、その会社だって、

どうなるのかわからないので、今のうちに、自分がどうしたいのかを考えておきましょう。できれば、毎月、給料をもらっているうちに、会社がダメになったり、独立するときに必要なスキルを身につけておくべきです。会社どころか、産業全体が突然死する時代です。自分の会社の将来を見極めましょう。

現在、自営業の人は、今までの会社の売上が、今年も続くと考えない方がいいでしょう。大企業でも、業種によっては売上が半分になる時代なので、自分たちも、それぐらいになってもおかしくないぐらいの覚悟が必要です。もちろん、クリエイティブなやり方をすれば、前年よりもよい実績を残すことは可能です。売上が下がるのを待たずに、今までやってこなかったやり方を試してみましょう。今の仕事の周辺には、必ずキャッシュポイントが眠っているはず。それを掘り起こしてください。こういう時代には、新しいビジネスを開拓する必要性が出てきます。自分たちがやっていることを少しひねると、どのようなキャッシュポイントがでてきそうか、知恵を出してみましよう。パートナーやスタッフと考えれば、必ず、それが見えてきます。今までと全く違うお客さんをターゲットにしてみる、同業他社と共同マーケティングをやるなど、画期的なことをやってみてください。

これからの時代にしっかり生き残れるのは、ブランドとなるような商品やサービスを持っているところです。自分の得意なこと、人に喜ばれることに、特化していきましょう。周りと同じサービスを提供しているレベルでは、不況とともに、収入は落ちていくだけになるでしょう。

また、固定費の大幅な削減もやっておくといいと思います。節約して10%経費削減は難しいものですが、枠組みを変えて50%削減するのは、意外に簡単にできます。今のオフィスを引っ越す、スタッフの報酬を変動制にするなど、今までの枠組みを変えることです。大切なのは、発想の転換と行動力です。

次回のレポートでは、資本主義の方向性と、お金についてお話しします。

本田健1月の講演会・セミナー情報

- (1) 本田健 2009年 新春講演会 in 東京&大阪 「**資本主義崩壊時代**」を、**幸せに豊かに生き抜く知恵**
東京：1月16日(金) 大阪：1月24日(土)
詳細はこちら ⇒ <http://www.aiueoffice.com/Lec200901.cfm>

～より深く学びたい方向け～

- (2) 東京2日間セミナー「**資本主義崩壊時代のお金の必須IQ&EQセミナー**」1月31日・2月1日(土・日)
詳細はこちら ⇒ <http://www.aiueoffice.com/Lec200902.cfm>

- (3) 本田健 1日集中「**豊かさへの感性を高めるセミナー**」in 大阪 1月25日(日)
詳細はこちら ⇒ <http://www.aiueoffice.com/Lec200901.cfm>